

年報 2019

Annual Report 2019 [April 2019 – March 2020]

Film Preservation Society, Tokyo



目次

ご挨拶／寄付への御礼／活動カレンダー	2
会員名簿／プロジェクト	3
広報	4
収支報告	5

ご挨拶

小会は、2019年度も皆様のご支援のおかげで日々のボランティア活動を継続することができました。とりわけ10月27日のユネスコ「世界視聴覚遺産の日」に際しては、日頃から「ホームムービーの日」でお世話になっているホームムービー・センター（CHM）の「ホームムービーデイ&ナイト：24時間マラソン」に参加し、「文京映像史料館」のフィルムに加え、神戸映画資料館および沖縄アーカイブ研究所に所蔵されている貴重なフッテージを海外に紹介する機会となりました。2月には韓国ソウルアートシネマにお招きいただき、フィルム映写技術に関するシンポジウムに参加して志を同じくする海外の仲間と交流を深めることができました。12月には元NY近代美術館のフィルムアーキビスト、アイリーン・バウザー氏の訃報に衝撃を受けましたが、バウザー氏にご教示いただいた多くのことを忘れることなく、引き続き諸活動に邁進していく所存です。

なお、2019年度は以下の皆様より計103,434円のご寄付を賜りました。会員一同、心より感謝いたしますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく願いいたします。

映画保存協会 理事会（天野園子、石原香絵、日比野郷枝）

寄付への御礼

以下の皆様にご寄付をいただきました。記してここに感謝いたします。

ARTE 様／フランス ストラスブール市

シネマテーク ソウルアートシネマ 様／韓国ソウル市

東北芸術工科大学 様／山形県

匿名希望 様／東京都

シネマ沖縄 様／沖縄県

田辺 弘樹 様／東京都／[HMD 調布]

宮澤 愛 様／東京都／ [HMD 京橋]

島 啓一 様／東京都／ [根津映画倶楽部]

平野 共余子 様／東京都

2019年度の活動カレンダー

4月：HP「光景流年—アジアの映画保存」に第13～15回を追加

6月：東京都内 視聴覚ライブラリー調査（第9回）、「年報2018」発行

8月：HP「磁気テープの適切な取扱いと保存方法」を公開

9月：ICOM 京都大会（AVICOM）参加

10月：YIDFF 参加（シンポジウム）、第17回〈ホームムービーの日〉、ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」参加

12月：国内の公共フィルムアーカイブ調査（第6回）

2月：全国視聴覚ライブラリー調査（第9回）、東北芸術工科大学訪問、ソウルアートシネマ訪問

2019年度の会員名簿

理事会 4名

天野 園子 (毎日新聞社/東京都)

石原 香絵 (東京都)

日比野 郷枝 (愛知県)

はた あきお (映画史家/神奈川県)

団体会員 11団体

株式会社足柄製作所 (フィルム缶製造)

株式会社データ・キーピング・サービス

株式会社東京光音

共進倉庫株式会社

一般社団法人記録映画保存センター

近未来考古学研究所

ギンレイシネマックス/飯田橋ギンレイホール

コガタ社

株式会社東京現像所

谷根千工房

YHI (ヤマナシ・ヘムスロイド・インターナショナル)

正会員 9名 (理事会4名を除く)

児玉 優子 (研究者)

鈴木 伸和 [東京光音]

竹森 朝子 [HMD 弘前]

匿名希望1 (研究者)

北村 昌子 [美術企画]

匿名希望2 (研究者)

三浦 和己 [国立映画アーカイブ]

宮野 起 [Audio Mechanics]

山下 裕喜 (研究者)

プロジェクト

ホームムービーの日 (Home Movie Day, HMD)

第17回HMDは国内11会場：青森、弘前（青森）、山形、谷根千、京橋、中野、調布、府中（以上すべて東京）、伏見（京都）、平野（大阪）、神戸（兵庫）で開催されました。FPSでは国内版の広報用チラシを作成し、開催後に世話人に対して広報資料の提出を呼びかけました。また、ホームムービーデイ&ナイト24時間マラソンにも参加しました。これは、米国CHMが10月27日にユネスコ「世界視聴覚遺産の日」を祝って、「People & Places: Home Movies of Where We Live [人々と場所：わたしたちが暮らす大地のホームムービー]」をテーマに、タイムゾーンごとに1時間、計24時間ホームムービーを配信する企画でした。日本のタイムゾーンには、沖縄アーカイブ研究所、神戸映画資料館、文京映像史料館の素材を提供しました。（担当：竹森）

映画の里親

「映画の里親」作品が以下の場でDVD上映の機会を得ました。

【10月19日（土）】京都国際映画祭「活弁でGO!」

映画の里親第四回作品『霧隠才蔵 [パテベビー版]』/会場：大江能楽堂

【1月22日（火）】坂本頼光独演会「活弁への招待 第2回」

映画の里親第一回作品『モダン怪談 100,000,000円 [松竹グラフ版]』/会場：日暮里サニーホール コンサートサロン/弁士：坂本頼光

【1月11日（金）】「永谷ふるさと村」永谷の昔 勉強会

映画の里親第二回作品『海浜の女王 [松竹グラフ版]』/会場：くじらの館

災害対策部

台風 19 号の被害を受けた動的映像の救済を呼びかけるにあたって災害対策部のチラシを改定しました。産経新聞 10 月 24 日付「台風 19 号 被災地の歴史資料、汚れても捨てずに」という見出しの記事の中で災害対策部の取り組みが紹介され、VHS 24 本（福島県）および miniDV 9 本（広島県）を受け入れました。また、台風 19 号以外の被災ビデオテープ 2 件に応急処置を施しました。内 1 件は年度をまたいで作業中です。（担当：鈴木）

広報

不定期メールマガジン「メルマガ FPS」

「まぐまぐ」と「メルマ！」のサービスを利用してメールマガジンを配信してきました。2019 年度は第 162 号から 165 号まで計 4 号を発行しました。「メルマ！」のサービスが 2020 年 1 月末で終了となったことから、購読者数は計 676 名（2018 年度）から 629 名へと減少しました。

メールリングリスト

2008 年 9 月から一般メールリングリストを開設しています（2020 年 3 月現在 参加者 141 名）

ツイッター Twitter (@filmpres)

2011 年 10 月に開設したアカウントのフォロワー数は 4,485 名（2018 年度）から 4,871 名に増加しました。HMD 広報用アカウント @hmd_japan のフォロワー数は 2020 年 3 月現在 2,700 名です。

フリッカー Flickr

主に会員が撮影した計 7,000 点以上の画像を共有しています（一部アクセス制限あり）。

フェイスブック Facebook (filmpres)

ウェブサイトの英語版を代替するものとして開設しています（2018 年度 870 → 2019 年度 959 いいね!）。

無声映画上映カレンダー <http://silentfilm.g.hatena.ne.jp/filmpres/>

2014 年 1 月以来、東京都内を中心に無声映画の上映情報を掲載しています。

収支報告

収入の部

- 〔入会金・会費収入〕 232,000 円
- 〔寄付金収入〕 302,379 円（内、一般からの寄付金 103,434 円）
- 〔予備費〕 388,376 円
- 〔その他の収入（利子）〕 1 円

収入合計 922,756 円

支出の部

- 〔事業費〕 202,876 円
 - 月刊メルマガ FPS 44,000 円
 - 翻訳 109,044 円
 - ホームムービーの日 45,512 円
 - ユネスコ世界視聴覚遺産の日 4,320 円

〔管理費〕 719,880 円

- 家賃 77,000 円
- 旅費交通費 71,635 円
- 調査研究・資料費 37,957 円
- 通信運搬費 91,157 円
- 会費・寄付金支出 120,838 円
- 消耗品費 76,712 円
- 広告宣伝費 23,430 円
- 予備費 218,430 円
- 雑費 2,721 円（印紙代、振込手数料等）

支出合計 922,756 円

収支差額 0 円

NPO 法人映画保存協会 年報 2019

発行：NPO 法人映画保存協会 Film Preservation Society, Tokyo

発行日：2020 年 6 月 22 日（PDF 全 5 頁）